こどもを交通事故から守ろう

春の交通安全運動

4月6日～15日

春の全国交通安全運動が、この六日から十五日までの十日間行なわれます。

昨年の交通事故白書によると全国で六十五万件の交通事故があり九十万人の死傷者を出しています。交通事故は、昭和四十年から年々多くなり、四十六年をピークに少しずつ減少してはいるものの、一日平均で千八百三十二件・約四十四人の人がなくなったことになっています。

南国署管内で歩行者の事故は、七十三件、十二歳以下の児童・生徒がもっとも多く、次いで六十歳以上のおとしよりとなっています。これは、道路の横断中や飛び出しによるものが多く、弱者の保護と歩行者自身も自分を守る心構えが必要だといえます。

とくに、春の交通安全運動の重点目標は、新入学児童・園児などこどもの事故を防ぐことにしています。また、春の行楽シーズンに向けて花見や宴会帰りの飲酒運転の追放が主な目的です。

気候があたたかくなると、どうしても気がゆるみがちなものです。ドライバーも歩行者も、みんなが気をつけて交通事故のない、住みよいまちにしましょう。

ストップ・マークを活用しよう

歩行者の事故を防ぐために、市内の道路へストップ・マークを白ペンキで表示してあります。これは、歩行者の事故の中でも特に多い飛び出し事故を防ぐためのもので、小路から広い道路への出口や見通しの悪い交差点などに、約千個表示しています。

ストップ・マークのあるところでは、こどももおとなも、ドライバーも、次のことを心がけて事故のないようにしましょう。

▽歩行者は、ストップ・マークのあるところで、いったん止まって、左右の安全をたしかめる。

▽マークのないところであっても同じように立ちどまって安全をたしかめてから道路を渡る。

▽小さいこどもには、ストップ・マークのことを よく指導する。

▽ドライバーは、ストップ・マークのあるところでは、歩行者のおることを予測して安全な速度で運転する。

歩行者の事故防止、とくにこどもの事故を防ぐため、スクールゾーンの安全対策を強化することになっています。学校や保育所などを中心にその周囲、通学路、通園路を重点に交通規制や道路標識の表示、ストップ・マークなど、いろいろの安全施設ができる予定ですが、市民総ぐるみで事故を追放しましょう。

交通安全スローガン

■ 運転者向け　せまい日本、そんなに急いでどこへ行く

■ 歩行者向け　たしかめて、またたしかめてハイ横断、

■ こども向け　ぼくしない、どうろのとび出し、わるふざけ、

市民交通傷害保険

安い掛金・高い補償

市民のための制度として発足した交通傷害保険も五年目の「契約を更新する」時期になりました。

昨年この保険に加入していた人も五月末で期限切れになります。五月末までに加入の手続きをしましょう。昨年加入されてない人でも、この機会に家族ぐるみで加入していただくようおすすめします。

六月以降の加入申込みは、加入申込みの日時から契約が成立したことになりますので、なるべく早く手続きをしてください。

昨年、南国署管内では四百四十五件の交通事故があり、十五人が死亡、六百三十人が傷を負いました。

私たちの住む南国市は、主要国道の通過する交通の要衝にあっていつ、あなたが、いつ自分にその災難がふりかかってくるかも予測することはできません。

〝ころばぬ先の杖〟

ぜひ、市民交通傷害保険へ加入し、もしものときに備えてください。

この保険は一人四百八十円と安い掛金でありながら、傷害の程度に応じて二千円から五十万円までの高い補償がされています。

不幸にして これまで交通事故にあわれ、補償されたものは、死亡した八十三人など一千五百五十四万円になっています。

事故にあわれたら、軽いけがでもおろそかにせずに、できればその場で、すぐ警察へ届出をしてください。

事故の日から日時を経過して事故の届け出をした場合は、警察で受理されないことがあります。

とくに、自転車などで、自分ひとりで転倒し、けがをしたときは直ちに警察へ届け出ておくことが大切です。いずれの場合でも、請求のときには警察の事故証明を必要とします。

〝市民〟に
合格しよう

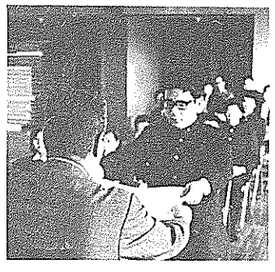
ゴミが泣いている

市内からゴミを追放しよう――。ゴミ・不然物など、市民ぐるみで追放に全力投球しています。ところが、まだまだ〝落第生〟も多いようです。

▼一般のゴミは、ビニール袋・ダンボールなどに入れないで、市の指定したゴミ袋で――をお忘れなく。

▼収集日の当日、朝8時までに指定の集積場所へ、数日前に出したり、指定の場所以外へ出したり、そんなことはありませんか。

体育功労者、優秀団体・個人を表彰



市体育協会（利岡完会長）は、体育の指導、発展に功績のあった功労者、体育、スポーツ競技で優秀な成績をおさめた団体と個人を表彰しました。

表彰された団体、個人は、次のとおりです。

功労賞　土居武夫（十市）＝体協常任理事、高体連相撲理事長、陸上一種審判などをつとめ、市体協の運営指導にあたる。▽北岡芳雄（後免）＝八年あまり県相撲連盟南国支部長をつとめ、県下高校相撲南国大会や県下中学校相撲選手権大会の開催に尽力。▽松本二郎（里改田）＝市体協の監事として永年にわたり運営、財政面の指導、監督にあたり協会の発展につくす。▽西岡春水（西島）＝市陸上競技協会顧問、常に率先して選手の育成につとめた。

優秀賞　《団体》香長中サッカー部▽同、男子バスケット部▽同女子バレーボール部▽北陵中ソフトボール部▽同、サッカー部▽東工業バスケット部▽高知工専剣道部▽同、サッカー部▽同、男子バレーボール部▽南国バトミントン青年チーム▽稲生婦人バレーチーム。《個人》杉本好文（高知工専二年）走り高跳び。四国地区高専大会、国体県予選で優勝、全国高専大会で二位。▽高橋健（同三年）柔道、四国高専大会優勝、全国工専大会で二位。▽川谷康（同三年）弓道、県下春季選手権、高知市体育大会でそれぞれ優勝。▽高橋敬一（東工業教諭）高体連バスケット強化部長、同校バスケット部顧問として選手強化につとめた功績。